

## 井草高校同窓会の現状と今後への課題

同窓會會長  
野呂俊一



井草高校卒  
一万三千余名  
の同窓生の皆  
様には、ます  
ます御元気に  
御活躍のこと  
と存じます。

窓会食がわいわい一派の雰囲気でござ  
てしまふ事です。同窓会の活動と共に二  
十二年間どうも御苦労様でした。心から  
感謝の拍手を送りたいと思います。

我が母校 井草高校は昭和十六年一月二十七日に創立され以来、四十二年の永きにわたり、歴史と伝統をはぐくんで今日に至っています。

先の会報（昭和五十六年）ですでお知らせした老朽しつつある木造校舎も、清水現校長先生らの御協力により、数年後には全て鉄筋コンクリートの校舎に建て変えられる予定です。大変よろこばしい事ですが、ただひとつ残念な事は、諸先輩の方々の大変御骨折で建てられた同

同窓会幹事のメンバーも、このところ新人があまり育っておらず、パワー不足をいためません。この件に関しては、私をはじめ執行部において、種々と対策を練っておりますが、なかなか、良き改

せんが、生徒の希望する進路に進ませてやりたい、できるだけ援助協力してやりたいと考えております。

ド、校門の改修、体育館のステージ増設  
自転車置場の増設、クラブ部室の建設なども計画しておりますので、昭和六十年度には学校の全貌も大きく変わり生徒にとっては活動しやすい快適な環境となる

善策が見当たりません。したがって、井草会もこのままでは続くのではないかと、少々、さびしい思いにかられています。

大分、不景気な事項を並べましたが、我々決して、にげの姿勢でいるのではない、少人数でもできるだけの事を、着実にやっていきます。

## 二 あ い さ つ

都立井草会

同窓会員の皆さん、お元気にしております。そして先輩諸賢の築かれた伝統を継承しながらも、新たな息吹を注入して自主の道を力強くあゆんでおります。

昭和五十七年三月の第三十四回卒業生を加えると同窓会員数は一万三千名になんなんとする大世帯となりました。新入会員の進路状況を概略申し上げてみますと、就職希望者は無し、全員進学希望でした。進学状況は現役(内は浪人)では国公立大二二名(二十五)、私立大は延べ一九七名(二八〇)、短大六五名(一二四)、専門学校二七名(二)となっております。なかでも東外大現役四名は近来にないヒットではないかと存じます。大学進学だけが高校教育の目的ではありませんが、生徒の希望する進路に進ませてやりたい、できるだけ援助協力してやりたいと考えております。

さて、昭和五十七年度から入学選抜制度が改まり、十四年間行われてきた群制

に、一步二歩前向きに解決していく努力を続けていく覚悟であります。

最後に、伝統ある母校井草高校の発展と共に、各分野におきまして、卒業生の皆様方がますます御活躍なさります事をお祈りいたします。

ごあいさつ

都立井草高等学校長 清水庫之祐  
井草会名誉会長 氣にそれぞれ  
度(三四群)からグループ制度(三

善策が見当りません。したがつて、井草高同窓会もこしづらく『冬の時代』が続くのではないかと、少々、さびしい思いにかられています。

大分、不景気な事項を並べましたが、我々決して、にげの姿勢でいるのではない、少人数でもできるだけの事を、着実

に、一步二歩前向きに解決していく努力を続けていく覚悟であります。

最後に、伝統ある母校井草高校の発展と共に、各分野におきまして、卒業生の方々がますます御活躍なさいます事を皆様方にお祈りいたします。

はです。それまで諸賢にもご迷惑をかけすることになりますが、よろしくご協力のほどお願いいたします。

校内暴力とか非行の増加が新聞紙上で傳えられておりますが、本校では私の着任以降思い返しても暴力事件は一件もなく、喫煙、バイク使用等が年に少々ある程度です。この辺に生活指導の主力が注がれており、これはクラブ活動の指導に来校される先輩諸君のお力添えのためるものであると感謝しております。行事直後のコンペなども禁止しておりますし、そこでの飲酒喫煙には強い指導をしておりますので、この点もよろしくお願ひいたします。夏休みも近づき夏季合宿の準備も進められておりますが、昨年度は二十六クラブが実施し、在校一、二年生の七二・九名が参加しておりますし、本年度は二十三クラブの実施を予定しております。ご承知のようにクラブ合宿の教育的意義、成果は絶大なものがありますので、PTAからの財政的援助、同窓諸賢の技術及び生活指導のご協力を得て一層の充実発展をと願っております。

六月の二週間、教育実習生が二十九名まいりましたが、一名を除いて二十八名が本校の卒業生でした。来年度は改築工事のため充分な協力はできないと存じますが、同窓生のために出来るだけの協力をしたいと考えております。

以上様々な事柄を書き連ねましたが、近況が少しでも御分り頂けましたら幸甚に存ります。終りに同窓会員諸賢のご活躍とご多幸を祈り上げ、ごあいさつといいたします。

(五七・六・二一記)

### 昭和56年度決算及び昭和57年度予算

5月23日の幹事総会にて、下記のとおり成立致しました。

#### 〔昭和56年度決算〕

##### ◎収入の部

前年度繰越金	1,318,353
新入会員会費	810,000
一般会員会費	613,000
寄付金	272,000
名簿売却収入	565,020
雑収入	15,185

計 3,593,558

#### 〔昭和57年度予算〕

##### ◎収入の部

前年度繰越金	1,099,725
新入会員会費	808,000
一般会員会費	200,000
寄付金	400,000
名簿売却収入	600,000
雑収入	2,275

計 3,110,000

##### ◎支出の部

同窓会館改修費	138,000
会報作成費	90,000
会報発送費	797,700
幹事会・役員会費	179,760
交通費	4,960
事務費	229,603
名簿作成費(内金)	1,000,000
雜費	53,810
次年度繰越金	1,099,725

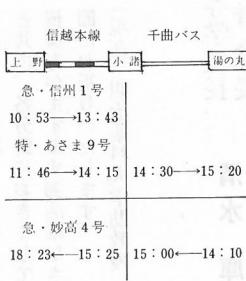
計 3,593,558

##### ◎支出の部

名簿作成費(残金)	1,150,000
名簿発送費	180,000
会報作成費	250,000
会報発送費	600,000
幹事会・役員会費	200,000
事務費	50,000
交通費	30,000
予備費	100,000
積立	550,000

計 3,110,000

○申し込み・問い合わせ  
九二〇一〇三一九



上野 ←→ 小諸 乗車券 2,300円 急行 900円  
特急 1,600円 (自由席)  
小諸 ←→ 湯の丸 760円

区分	泊・食	料金	備考
在校生	1泊2食	1,800円	同伴の小学生は 2,500円
井草会員		2,500円	
在校生の家族		2,500円	
井草会会員の家族その他		3,000円	
昼食代	1食につき	400円	
暖房費	1泊につき	400円	10月より5月まで

夏なお涼しい高原は、周囲を原生林と高山植物群に囲まれ、四季それぞれの味わいがあり、家族連れから健脚向きまで数多いハイキングコースがあり、冬には、良質のゲレンデにてスキーが楽しめます。



すので新たに名簿購入を御希望の方は、同封の郵便振込用紙を必ず御利用ください。尚一部三千円(送料共)となつておられます。

### 井草高校「からまつ山荘」ご案内

昭和四十一年に長野県の湯の丸高原に井草高校の校外施設として開設された「からまつ山荘」は、四季を通じて、教職員・在校生・井草会会員及びその家族が利用できます。

井草高校の校外施設として開設された「からまつ山荘」は、四季を通じて、教職員・在校生・井草会会員及びその家族が利用できます。



工藤登代子1・細野恭代6・八百洋子  
1・細谷春来3

松本伸春1・青木清志1  
高校二十八回  
川上俊一1・玉野井昭子3・梶川智子

高校十四回  
友枝 稔2・土井脩司5

高校三回  
高橋征二1・寺崎寿南男1

松本士郎1・後藤晶彦1・青木眞弓3  
1・藤山尚子1

高校二十九回  
薄 恵子2・大村忠夫5・小島慶子1

高校三十二回  
小山 裕1・石原浩樹2

高校三十四回  
高橋十五回

高校三十四回  
鈴木幹夫1

高校三回  
坂本洋子1

高校三十二回  
横井裕子1・関谷利子1

高校三回  
高橋十六回

高校三十二回  
深津 修1・大野弘茂2・横尾洋二郎

高校三回  
高校三十三回

高校三十二回  
川崎真理1

高校三回  
高校三回

高校三十二回  
横井裕子1・関谷利子1

昭和五十六年四月より本年三月までの間に左記の会員の方々から、井草会へご寄付賜わりましたので、誌上を借りて感謝の意を表します。

尚、今後とも井草会活動維持の為、ご援助ご協力の程、よろしく御願い致します。

(数字は一口千円の口数。順不同。敬称は略させていただきます。)

高女一回  
記

原 芳子4・鈴木道子1・飯島綾子3・宮城章子1・後藤葉子2・谷井昭代4

大久保京子5・大木千代1・宇田川和

子2・鈴木美智子3・末永京子10・山

口茂子1・友松久江1・矢島昭子2・直井春海3・高山登志子2・土手千恵

子2・松本和子1・長谷川禎子1・山

本律子1・高女二回  
小口 甫1・桜田せつ1・石川 幸2

高女三回  
高女四回  
高女五回

高校九回  
高校十回  
伊藤英子1・竹下信雄5・中島恭子1

高校十一回  
高校十二回  
上部里美2・坂坂睡子1・川嶋良子2

高校一回  
三河尻みどり1・佐藤洋子1

増田恵美子2・隆野豊子1

お願い

毎年多数の会員の方の住所がわからなくなります。住所変更の際には、井草会まで御一報下さい。(平成十七年三月上旬神井一一四〇都立井草練馬区上石神井) 尚、その際には、高等学校内井草会) 尚、その際には、卒業回数、クラスをお忘れなく御記入下さい。(卒業回数・クラスは封筒の右下に書いてあります。)

会費の支払いに銀行振込みもご利用ください。  
—銀行口座—

三菱銀行高田馬場支店  
第一勧業銀行高田馬場支店  
口座番号 ○五三三四三〇三七〇一一番

井草会  
第一勧業銀行高田馬場支店  
口座番号 ○六四一一四七三四六番

井草会  
第一勧業銀行高田馬場支店  
口座番号 ○六四一一四七三四六番

出場校選手会の詠事（詠市新聞六月七日付）で、母校野球部が「大会出場校の中でも最もミニなチーム」と紹介されました。  
かつて、夏の西大会ではベスト16に残った実績もあり、小粒ながら高く評価される野球部ですので、都大会出場校二百二十三校のなかで頑張ってほしいと思います。

井草会会員一丸となって、甲子園に応援に行く日を夢みて、現役諸君の活躍を期待します。

最近刊の小松左京氏の「S.F.セミナー」(集英社文庫)では、著名なS.F.作家である、平井和正、半村良、星新一、筒井康隆氏の間に、新感覚の女流S.F.作家として紹介されています。新井さんを応援する意味でも、S.F.に少しでも興味のある方は、是非一度、新井素子さんの作品を読んでいただきたいと思います。

会員  
S  
F  
作家  
ガ  
ン  
バ  
ル

新井素子さんご紹介

現在の井草高校

3年 青木ひろみ  
八木佐知子

五教科の入試となり、新しくスタートを切った井草高校。五教科に対する意見は賛否両論様々ですが、その話はおいておきまして、最近の井草生なるものを、皆様にお伝えしたいと思います。

「自由」でかつ「自主性」のあった井草生、今でものびのび明るくおつとりやつているのですが、最近その「自由」というのに甘えてか、生徒会活動が低迷しています。生徒会が盛んでないと、「自由」な校風も生まれてこない様に思うのですが……。

クラブ活動の方は、相変わらず盛んであります。ただ、グランド・体育館共に狭いので、練習時間、練習場所の確保に走りますわる?!女子マネの姿をよく見かけます。（一応私たちも、某クラブのマネージャーをしております。）成績の方も仲々優秀なクラブがありまして、先輩方にも満足して頂けると思います。

そして、もう一つ盛んな活動があるのです。実は掃除なんですが、毎日

放課後になりますと、担任の先生と仲よく掃除をやります。大掃除もまめにやれな  
い様にしたり、校舎も塗り替えて、新入生には「とてもきれいな学校」という印  
象を与えた様です。

以上、私たちの独断と偏見で、最近の井草高校について述べてきましたがお詫  
かり頂けたでしょうか。私たちは、今、「自由」な校風を守る為に生徒一人一人  
が、自覚をもつて積極的な行動をとることを望みます。

私の場合、この普通の井草高校の卒業生としての井草高校に対するかかわり方の他に、井草高校の同窓会である「井草会」の幹事としてのかかわりがあります。私が井草高校を卒業したのは昭和四十九年三月のことですから、早いもので幹事としてのかかわりも八年以上になっています。幹事といっても、全くの偶然からそうなったのであり、正直に言って、今まで一番幹事らしい仕事をしたというものは、卒業した年の夏休みに、名簿の作製を先輩の指導のもとに行つたことと、同窓会を開催した際に同時に同期会（二十六回）を行つて盛況を呈した時に、多少仕事をしたということぐらいです。社会人になってからは、なかなか、井草会の仕事を手伝うことも、できなくなりましたが、それでも現在まで、井草会（正

時折、新聞などで、井草高校出身者の活躍ぶりや、「井草祭」について、(ユニークな学校祭という観点からの)報道されるのを目にするとき、井草校の卒業生の一人として自分が存在していたころを想起して、懐しく思う、そんな経験が一度も浮べ、懐しく思うことはない。でもうかと思いつます。特に高校野球が始まると、新聞記事の片手に井草高校の文字を見出していく、いろいろと思い浮かべる機会も多くなることでしょう。また、ある時には、井草高校時代の友人の結婚式に招待されて、在学当時のことを懐しく語り合ったり、ある時には、街で偶然友人と再会したりして、共に食事をしたり、一杯飲んだり、年に一度のクラス会に出席して旧交を暖めたり、また、たまには風呂の中で井草高校の校歌を歌ってみたりする。そんなところが、私と井草高校との普段の関係であると言えると思いま

浩二



●あとがき●

（高校二十六回D組卒）

## ●あとがき●

新しい環境と伝統ある校風がマッチした「すばらしい井草高校」がでてくるよう幹事一同祈っております。

生まれ変わらぬ  
しています。